

くに たち

# 国立を壊さないために!

ムダ遣いの大型開発をやめ、  
「市民のためのまちづくり」への転換をめざす要請 一万人署名に  
あなたのご協力を。

## Discover Kunitachi

大切な税金をムダにする「国立駅周辺まちづくり基本計画」を根本的に改め、  
税金・公共料金の値上げをやめてください。



ムダ遣いの大型開発をやめ、  
「市民のためのまちづくり」への転換をめざす署名推進センター

赤松宏一 生島久代 大橋菜緒子 長内敏之 尾張美也子 川口智久  
木島香織 澤登敬子 高原幸雄 田村さみ 藤田貴裕 水沼善介

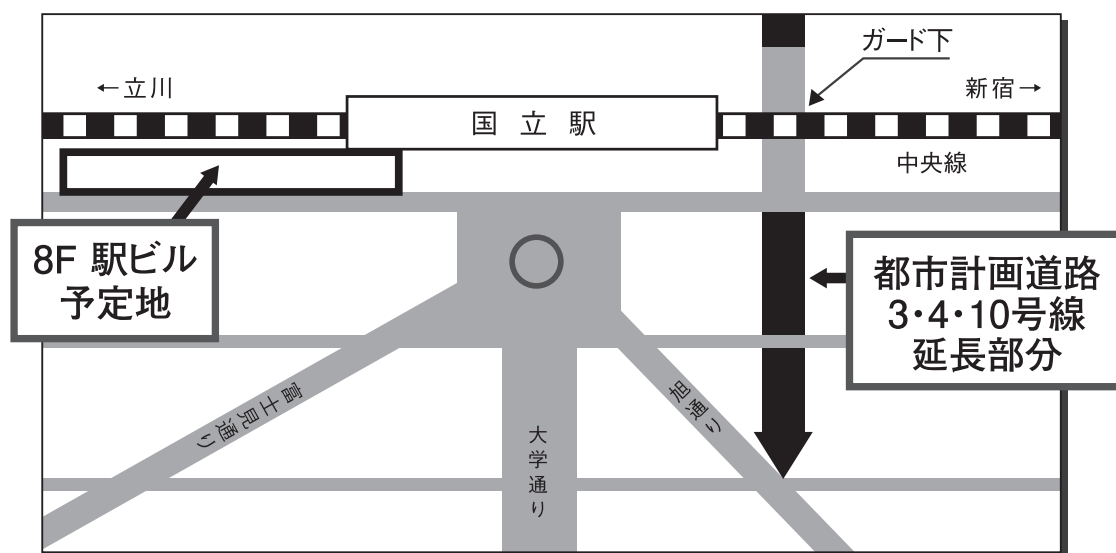
連絡先 tel 572-0306 E-mail: discoverkunitachi@gmail.com

# くらしと環境を守る「1万人署名」を

国立市は今、“駅周辺まちづくり”として153億円(市負担90億円)の大型開発(3・4・10号線の「旭通り」への延長に35億円、8階ビルに70億円など)を推進しています。ロータリーをなくす案も出ています。

また東京都は「さくら通り」に府中方面からの「東八道路」を結びつける計画をしています(平成30年完成予定)。この2つの計画により「旭通り」「さくら通り」共に国立の環境を壊す騒音と危険な大型車の通過道路が生まれることとなります。その一方で、市当局は財政改革審議会をたちあげ、市民の税金・公共料金的大幅値上げを始めようとしています。

私たちは、国立らしいまちづくりと暮らしを守ることを望んでいます。市民の税金は、ムダ遣いの大型開発ではなく、わずかな経費で出来る「小中学校のトイレ衛生面改善」「谷保駅のエレベーター」「教育費の増額」「公共施設の耐震化促進」「コミュニティバス路線拡充」「自転車駐輪場増設」「高架下国立駅前図書館開設」などに使うよう求めましょう。あなたの署名は、ムダ遣いをなく「市民のためのまちづくり」を実現する世論の力です。「1万人署名」に是非ご協力下さい。(賛同者数:240名 署名数:7015筆 平成24年7月現在)



7月19日の第6回国立市財政改革審議会は、市当局が提案した以下のような平成25年度から順次の税金・公共料金値上げ(案)を市長に答申しようとしています。

|          |     |                       |                |
|----------|-----|-----------------------|----------------|
| 国民健康保険税  | 値上げ | 約1億7千8百万円             | (1世帯平均1万2千円/年) |
| 下水道使用料   | 値上げ | 約1億9千3百万円             | (1世帯平均5千5百円/年) |
| 家庭ごみ有料化  |     | 約1億8千万円               | (1世帯平均6千円/年)   |
| 都市計画税    | 値上げ | 約1億2千9百万円             | *都内で最高税率       |
| 公立保育園民営化 |     | 約1億3千9百万円             | 支出抑制 (2園分)     |
| 学童保育育成料  | 値上げ | 約800万円の値上げを既に決定(6月議会) |                |

このほかに、「自転車駐輪場使用料」「体育館グリーンパス」「高齢者食事サービス」「長寿慶祝事業」「保育料」なども値上げと抑制が行なわれ、年総額で約8億9千万円となり、10余年計画の大型開発の市負担90億円をほぼまかなう額となります。 ※以上、第4回～第6回「国立市財政改革審議会」資料より分析